

【質問】デザレックス錠の腎機能障害患者への投与は？

【回答】

腎機能障害のある患者では、デスロラタジンの血漿中濃度が上昇するおそれがあります。

[解説]

海外の臨床試験において、軽度(クレアチニンクリアランス(CLCr):51~80mL/min/1.73m²、6例)、中等度(CLCr:30~50mL/min/1.73m²、6例)又は重度(CLCr:10~29mL/min/1.73m²、5例)の外国人慢性腎機能障害患者にデスロラタジン錠5mgを1日1回14日間反復経口投与したとき、健康成人(CLCr:>80mL/min/1.73m²、9例)と比較してC_{max}及びAUC_{0-24hr}は軽度~中等度腎機能障害患者で約1.3~2.1倍、重度腎機能障害患者で約2.6倍に、それぞれ上昇しました。したがって、腎障害のある患者では、患者の状態を観察しながら慎重に投与してください。

なお、外国人末期腎不全患者(6例)にデスロラタジン7.5mg(承認用量外)を空腹時に単回経口投与後4~8時間(計4時間)に血液透析を行ったとき、デスロラタジンの除去率は投与量の0.3%で、ほとんど除去されませんでした。

出典：添付文書、インタビューフォーム